

目 次

はしがき	v
中村芳久先生略歴・業績一覧	vii

I. 類型論的研究

現代フランス語の ça を主語とする非人称的表現について	春木 仁孝	2
日タイ語の聞き手領域への移動を表す「来る」表現に関する一考察	上原 聡	14
ドイツ語の事態把握をめぐって —日独英対照の観点から—	大藪 正彦	28
好まれる画像の向き —交通標識の日独比較—	西嶋 義憲	41
Application of Extended Semantic Map Model to the Korean and Japanese Resultative Constructions	Yong-Taek Kim	56
感情の普遍性とその言語化 —感情表現の類型論的研究に向けて—	王 安	71

人称転移現象について	古賀 恵介	85
---------------------	-------	----

II. 日英比較

日英語の自他動詞の志向性と2つの Natural Path	村尾 治彦	98
--	-------	----

数量類別詞と認知	屈 莉	111
-------------------	-----	-----

付加疑問文の非照応構造と終助詞「ね」の平行性	中谷 博美	123
---------------------------------	-------	-----

疑問文における日英語法副詞のはたらき	岡本 芳和	136
-----------------------------	-------	-----

絵本 'The Giving Tree' の英語オリジナル版と日本語翻訳版の一考察	都築 雅子	147
--	-------	-----

III. 語彙カテゴリー・文法カテゴリー, メタファー

英語の名詞語尾 -s — 複数より基礎的なその意味について —	嶋田 裕司	162
---	-------	-----

身体部位名詞の概念拡張と連語環境における意味分布の初期調査	岡田 禎之	174
--	-------	-----

色らしくない色 <i>Gray</i> のカテゴリー形成	山田 仁子	186
---------------------------------------	-------	-----

1780 年代英語研究における進行形観	樋口 万里子	199
Talmy (1991) 類型二分論の再考察 —構文主導の英語移動表現より—	田中 (松本) 瑞枝	211
英語の時間メタファー再考	岩崎 真哉	222
IV. 英語表現・英語構文		
非選択目的語を伴う英語使役移動構文から見る動詞と構文の融合	貝森 有祐	234
レトリックとしての No more A than B 構文	廣田 篤	248
英語の同族目的語構文とその類似表現について —構文構築とその特性—	堀田 優子	260
I don't {think (that)/know that} $\neg p$ の二義性について	森 貞	273
否定辞繰り上げ述語の規定について —文法化の観点から—	守屋 哲治	285
[X is X is X] 構文について	宮浦 国江	296

話しことばと断片的表現

—Not XP について—

.....澤田 茂保 307

That said について

.....大橋 浩 319

V. 言語発達・言語習得

有標・無標から見た言語発達の諸相

.....米倉 よう子 332

Get+V-en 構文の拡張と幼児の言語習得について

.....市川 泰弘 344

Get-passive の被害性に関する考察

—通時的発展と言語獲得の観点から—

.....谷口 一美 356

VI. 談話標識

談話標識をよりよく理解するために

.....廣瀬 浩三 368

問主観性と CDS

—談話標識 *I mean* を例に—

.....小林 隆 380

Multiple Occurrences of Discourse Markers and Fillers:

A Relevance-theoretic View

.....Takahiro Otsu 393

VII. 日本語における主観性

日本語の内的状態述語の考察

—I モード認知と主客の相補性—

.....今泉 智子 406

証拠性「らしい」の文法化を動機づける脱主体化のプロセス

.....高島 彬 417

「X の中の X」と「望ましさ」主観性

.....阿部 宏 429

VIII. メディア・教育

テレビニュースの言語に見られる現象

—その要因と背景—

.....轟 里香 442

英語学習者の事態把握に見る日本語の「無限定性」について

.....川島 嘉美 454

大学初年次生の学術的・実務的文章のスキーマ形成

.....因 京子 464

認知文法におけるグラウンディング理論と学習英文法

.....今井 隆夫 476

IX. 認知モード・言語進化

ヒトの言語の進化的に安定な戦略	高橋 幸雄	490
「間」と認知モード	向井 理恵	502
脳内現象としての言語 —認知と言語のメカニズム—	濱田 英人	514
執筆者一覧		527